



私たちの暮らしについて考えよう!!

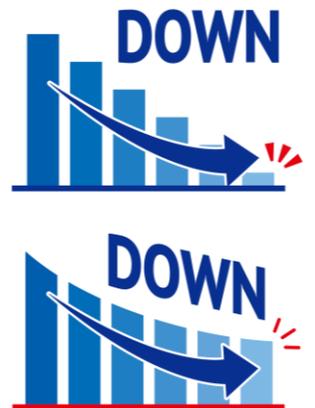
昨年の平均給与は2年連続で減少!!

平均賞与は8.1%もの減少でリーマンに次ぐ減少幅!!

新聞報道によると、国税庁の調査で、民間企業の社員やパート従業員が昨年1年間に得た給与が平均433万1,000円で前年を0.8%下回り、**2年連続で減少**したことがわかりました。

また、このうち**賞与は前年から8.1%も減少**し、最近ではリーマンショック後の**2009年(13.2%)に次ぐ減少幅**でした。

(読売新聞オンライン版9月29日配信)



その一方で、10月から生活に必要不可欠な食料品の多くや、電気・ガス料金等が値上げ!!

一方、世界的な原材料価格の高騰により、10月から**食品や公共料金等が値上げ**となります。

「相次ぐ値上げで家計の負担が重くなり、緊急事態宣言の解除で正常化に向かう国内経済に水を差すおそれがある」と指摘されています。

(読売新聞オンライン版10月1日配信)

生活費



値上げされる品目と値上げ率の例

マーガリン	食用油	パスタ・そば	菓子	コーヒー	電気・ガス
2~13%	1K 当たり 30 円以上 (今年4回目の値上げ)	2~9%	7~8%	約 20%	前月比 60 ~150 円



私たちはコロナ禍の中で黒字化実現に向けて職場で日々努力しています。しかし、昨今の厳しい政治・経済情勢の下、賃金減少の一方で生活費が増大し、私たちの暮らしは苦しくなる一方です。

「職場と仕事と生活」を守るために、今こそ、安心して生活できる賃金・賞与と、働く者の目線に基づく政策の実現に向けて具体的に行動しなくてはなりません。

衆議院選挙や年末手当・22 春闘を視野に入れ、未来を切り拓くために全力でたたかおう!!